

東京丸の内ロータリークラブ

第27回 例会議事録

公益社団法人世界自然保護基金ジャパン
(WWFジャパン) 金子 幸史氏 卓話

2019年5月8日(水)

会場 センチュリーコート丸の内
アカンサスノース・ルーム

① プログラム

- ◆ 司会進行 久保田佳代会員
- ◆ 開会点鐘 尾崎由比子会長
- ◆ ロータリーソング 岸宏保会員
「奉仕の理想」
- ◆ ゲスト・ビジター紹介 久保田会員(なし)
- ◆ ニコニコ報告(渡邊寿一会員)
- ・尾崎 由比子 会長
「WWF ジャパン金子様、本日の卓話どうぞよろしくお願いたします」
- ・嘉納 英樹 会長ノミニ
「このたび人事労務・労働法に関する書物を『労働行政』という出版社から出版させていただきました。『初めての外国人雇用』という題名です」
- ・塩島 由晃 幹事
「本日は金子様、卓話を宜しくお願致します。あと先程はクラブ協議会、お疲れ様でした」
- ・岸 宏保 会員
「卓話楽しみにしています。ありがとうございますま

す」

・白杵 紗季 会員

「本日は金子様どうぞよろしくお願いたします」

・今井克枝会員、藪口真太郎会員

(本日合計 29,000 円 〈累計 1,359,000 円〉)

② 会長報告 尾崎会長

(1) 5月お誕生日

渡邊寿一幹事エレクト



(2) 卓話者(WWF ジャパン金子幸史様) 紹介

本日は令和になって初めての例会です。10連休は皆様どのように過ごされましたでしょうか。

本日は WWF ジャパンより金子様にお越しいただきました。

ロータリーの慣習として、例会には事前連絡せずに突然参加して良い、というものがあります。そのため、各クラブ 1 テーブル分程度余計に食事を注文しているところが多いようです。ほとんどのロータリークラブの例会がホテルの宴会場で行われていて、比較的人数の調整がしやすいという

こともあります。丸の内はレストランで開催しているため、人数の連絡は必須となっています。お金を払えば残ってしまってもいいという話でしょうか。

私はこの慣習について聞かされた時に、食事の作り手の気持ち、手付かずの状態での処分される食事、破棄された後どうなるのか、など考えたら、この慣習を現代の価値観に合わせる勇気が必要であると思いました。会員が期限内に出欠の意思表示をするのはもちろん、他クラブから参加される方もメールや電話で事前に知らせてくれるだけで、解決する話でもあります。

そのため、第1回クラブ・フォーラムで会員の皆様にこの慣習についてお話しをし、ご賛同いただき、丸の内 RC ではメイクアップの際にも基本的には事前連絡をしていただくことになりました。現在、その旨ホームページにも記載しております。

予約制にすることは、単なるクラブの都合ではなく、私達のこのフードロスに関する取り組みであることを伝えたい、食事を無駄にしないことが丸の内の奉仕活動の一貫であることをうまく伝えなければなりません。予約制をとらせていただく代わりに、例会毎に1食分を寄付することをホームページに明記することで、ロータリー全体に丸の内 RC の考え方、活動を認知してもらえたら素晴らしいと思っています。

次年度の RI のマローニー会長の4つの強調事項の中に国連との連携に焦点を置くというものがあります。令和になって初めての卓話が私達のクラブの方針、特色を表す活動にもなります。

私達が知らない環境問題など興味深い内容が満載の卓話となっておりますので、後程楽しみに聞いていただけたらと思います。

③ 幹事報告 塩島幹事

(1) バナーの披露

鈴木幹一会員がメイクアップされた時に交換したバナーを披露します。京都ロータリークラブと京都北ロータリークラブです。皆さんも初めて行かれる先とはバナー交換して下さると、より親交が深まると思います。

(2) 東京お茶の水 RC との合同例会(5/22)について

合同例会(12:30~13:30)の前にお茶の水 RC の皆さんと情報交換会を行います。開始時間は 11:30 です。会場は九段下のホテルグランドパレスです。

(3) クラブ協議会(委員長会議)について

先ほど行ったクラブ協議会についてのご報告です。

・社会奉仕委員会では、かねてより計画していたSGDsのセミナーですが、6月21日(金)に玉木会員が講師となって第一回目を行います。時間帯は夜です。今からスケジュールリングをお願いします。

・ホームページについては、早野会員がいろいろと修正してくれています。議事録はすべてアップしてあります。また、非公開で、会員の自己紹介ページを作ることを考えています。あとから入られた会員がすでにインシエーションスピーチが終了してしまった会員のことをよくわからないという事情があるからです。顔写真、名前、職業、カテゴリー、会社名など一覧表を考えています。皆さんには写真のご提供をお願いします。

④ 会長エレクト報告

朴会長エレクト

(1) PETS(3/27)報告

私が参加いたしました President-elect Training Seminar つまり次年度会長のための研修会の報告をさせていただきます。当日は RI マーク・ダニエル・マローニ次期会長、新本博司次期ガバナーから次年度会長ミッションについてご指導を賜りました。マローニ次期会長は「ロータリーは世界をつなぐ」をテーマとし、「私達ロータリアンは持続可能な良い変化を生むために行動する世界を目指している。そのためには、国連との連携が不可欠である」としています。

また、新本地区次年度ガバナーは、テーマを「奉仕の実践、明るい未来」とし、「平和の取り組みについて各クラブが会員全員で検討するように」、具体的にはロータリーでこれまで実施されてきた母子の健康等の活動以外に、(ここからなのですけれども)「国連や政府機関との協力」それから「自衛隊の平和活動の支援の検討」というものをクラブで検討し(すごいでしょ?今までなかったと思います)、「8月21日のガバナー公式訪問の時にその可能性について、クラブ全員で検討した内容を報告するように」と述べられました。次年度会長に対しましては、「奉仕の実践は次年度同時にスタート出来るよう、第一回クラブ協議会を今年度中に開催すること」。これにつきましては、渡邊幹事エレクトが日程調整を例会とは別にさせていただきます。でも「それには、出られません」とか「それだけの時間では次年度の事業計画を十分に書けません」という方は、大変お手数ながら個別に時間を頂戴することになります。

今、次年度委員会のリストが初めて皆さんのお手元に届きました。皆さん、どの委員会に属していますでしょうか?どうしても「ちょっとこれは無理です」ということがありましたら、渡邊幹事エレクトまで電話やメールでご連絡をお願いします。

もう一つ PETS の中でおっしゃられたのが、「各クラブがオリジナリティーを持って活動することを推奨します。しかし、一方では、国際ロータリー

の方針を見失わないでください。各クラブの方針や活動が標準ロータリー定款から外れていませんか?そのようなことを繰り返し検討するように」とのご指導を受けてきました。私はこの PETS に初めて参加して、その教わったこと、指導されたこと、その PETS に対しての地区の方々の思い、ロータリーの地区の皆さんが各クラブ一人ひとりの会員に対しての思い、というものを初めて感じまして、これは私だけでなく、ここにいる会員全員が知っておくべきことだと思いました。ですから、次年度のクラブ協議会、クラブ・フォーラムでは、繰り返し私は見てきたことを皆様と情報共有するために一生懸命尽力したいと思います。どうぞよろしくお願いします。

⑤ 幹事エレクト報告

渡邊会長エレクト

(1) 千代田区施設登録について

次年度の報告をさせていただきます。千代田区施設登録と書いてありますが、千代田区には公民館が10くらいありまして、こちら在勤・在住者が過半数を占める団体登録をすることで、かなり割安に借りられる施設です。7月以降次年度は、委員長会議ですとか、細かい会合には積極的に使うようにします。こちらセンチュリーコートから一番近いのが「九段学習館」で、九段下駅からすぐのところであり、タクシーで10分かからないくらいです。そちらを中心に使うと思います。すでにお名前をお借りして団体登録の申請を準備しております。今後ネットで報告して団体登録をさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

⑥ 「ロータリーの友」を読んで

田路会員

ご指名を頂きました田路です。「ロータリーの友」は毎月配られています、皆さんご覧になっていらっしゃるでしょうか。私も恥ずかしながら、ちゃんと目を通したのは、こういった宿題を出されて初めてでした。思った以上に内容が濃く、何を話そうか迷いましたが、ちょうどローターアクトクラブの活動についての記事がありましたので、これについてお話します。なぜならば、私は昨日恵比寿ローターアクトクラブで卓話をしてきたからです。

皆さん、ローターアクトクラブについてご存知でしょうか？ 挙手半分くらいですかね。実は私も卓話の依頼が来るまで知らなかったのですが、「ロータリー」と「アクション」の造語だそうです。18歳から30歳までの青年男女に向けた会員組織でして、ゆくゆくはロータリアンになる人を育てていくコミュニティーです。広く多くの人にロータリーを知って頂くための組織で、歴史もあります。RIの会長が「全てのロータリークラブはローターアクトを提唱すべき」としていることが記事になっていまして、それくらい力を入れていく組織であるということです。

昨日訪れた恵比寿ローターアクトクラブは、会員は25名くらいで、会員のことを「ローターアクター」というそうです。恵比寿ロータリークラブのご子息が大学生、社会人になって立ち上げた組織だそうです。正直、目的がそんなに固まっているわけでもなく、月に2回集まっているということでした。ですから、まずは目的を持っていこうね、と。私の卓話の内容も、「目的を持って生きることが、時間を生かしていくことであるし、ひいては自分の人生を豊かにしていくことでもある」というこ

とでした。ローターアクトにもメイクアップすることが可能ということなので、たまには皆さんもぜひ活動に協力してあげてください。

(次回報告は、堀江会員にお願いします)。

⑦ 出席報告

会員数	26名	ゲスト	1名
出席数	25名	ビジター	0名
欠席数	1名	出席率	96.2%
	前回修正	出席率	88.5%

⑧ 卓話： 公益社団法人

世界自然保護基金ジャパン

金子 幸史 様

はじめまして。WWF ジャパンの法人様を担当させて頂いております金子と申します。本日は貴重なお時間いただきましてどうもありがとうございます。

本日は大きく2つのテーマがございます。私共のパンダのマークをご覧になった方、多いと思います。実際何をやっているのか、その内容につきましてご説明させていただきます。またSDGsにつきましましては、丸の内ロータリークラブさんも活動に取り入れていらっしゃるということですが、これについては皆様普段の生活の中でどのようなアクションを取って頂きたいかについてお伝えさせていただきます。

まず WWF についてです。国際環境 NGO という団体の形態をとっております。1961 年設立、本部はスイスのグラン、名誉総裁はエリザベス女王のご主人であるエジンバラ公フィリップ殿下です。設立当初は野生生物の保護という活動でしたが、1970 年代になりますと、経済活動が活発になり、環境の破壊が進みました。環境全体を守らないとそもそも野生生物は守れないのではないかと、ということで、環境保護団体に形態を変えて活動しております。さらに、1990 年代には地球温暖化が顕在化してまいりまして、こちらも森林海洋とそこに住む野生生物への影響が大きいということで、こちらも活動の大きな柱として組み込まれました。ちなみに日本の総裁は秋篠宮殿下です。今会長は末吉竹次郎さんという金融出身の方です。昨年 10 月までは、徳川 18 代宗主である徳川恒孝さんでした。

WWF はいろいろな企業様、個人様に支えられております。現在 100 か国以上で活動を行っており、500 万人以上のサポーターがおります。WWF ジャパンは 420 社以上の法人サポーター、43,000 人以上の個人サポーターに支えられ、1971 年から活動しております。事業規模は 14 億円程度。大きなサポーター企業としては、トヨタ、co-op、イオン、ソニーさんなどです。

私共のミッションは「人と自然が調和して生きられる未来を目指す」ことです。人間だけがよい世界ではなく、自然といつまでも調和して生きられるということです。具体的に 4 つの大きな柱がありまして、①地球温暖化を防ぐ、②野生生物を守る、③森や海を守る、④持続可能な社会を創る、ということです。更に、WWF ジャパンは、①国内の特定な環境課題について取り組む、②森林、海洋、気候変動、③違法な野生生物の取引を監視する、等のグループに分かれて総勢 80 名程度で活動しております。すべての活動が野生生物の保護につながっていくような形です。もう一つの特徴としては、実際「保護フィールド」をもって活動していること。

たとえば、インドネシア、マレーシア、タイ、ミャンマーなどでの活動です。グリーンピースという団体などは、アドボカシーワークといって、課題を見つけてそれを公にしていくことで皆さんの関心を喚起する方法をとっています。これに対し我々は具体的な保護フィールドをもってやっております。



SGDs と WWF の関係、およびコモディティと環境の関係についてです。コモディティとは、一般的な「日用品、汎用品」といった意味合いとは異なり、私達は「農産物や一次産品」という意味合いで使っております。SDG s (Sustainable Development Goals) の一番大きな目的としては、持続可能な開発目標。人間は生きていく上で生産活動は必須になるのですが、それをどう未来に自然資源を残しながら持続可能な方法で開発を進めていけるか、ということです。2016~2030 年に国連加盟国が達成するという行動計画を 17 の項目に落とし込んで可視化したものになります。この中には貧困であるとか、性差別、教育、衛生、保健といったものがあります。もちろん、環境もあります。こういった困難に対し、コレクティブ・インパクトというのですが、特定の社会課題に対して、行政、企業、NPO、市民などがセクターを乗り越えて各々が一番の強みとするところを持ち寄って解

決する努力をする、というのが目標です。正直なところ、SGDsが皆様に知れ渡ることによって、企業のホームページなどで宣伝されるようになりましたが、残念なことに一つのクライテリア（条件）で進捗を監視する機能がないので、どうしても独自で取り組んでいくような形になっています。有効性、実効性のある取り組みがご希望ということであれば、ぜひともお問合せいただければと思います。

続きまして、ストックホルム大学の研究チームの発表ですが、17個ある課題の中で、どうしても「環境」がベースになっているということです。貧困や飢餓は環境に直結しますので、まずは環境に興味を持って取り組んで頂きたいということです。

私共では、特に気候、森、海などには取り組んでおります。ただ、そこで生活をしている、その資源を生業にしている方々の人権を守りながら、というのを大事にしております。

次に「コモディティーと環境」についてです。ここからは柔らかい感じでいかせて頂きます。皆様の消費がどのように環境とつながっているかをご説明します。まず、問題です。パンダ、マグロ、白熊、ウナギ、トラ。これらの共通点は何でしょうか。これらはすべて絶滅危惧種です。特に30～40年前まではトラは40万頭いましたが、現在は全世界で4千頭くらいになってしまいました。「もしかすると、動物園にいるトラの方が多いのではないか」というシャレにならない話もあります。ちょうど昨日イクベスという組織の報告書が出ました。ひとつしかない地球、みんなで仲良くしなくては、ということです。

皆さんに出来ることはたくさんあります。ロータリークラブさんがフードロスに関する活動をなさるとのことなので、海をテーマに話をいたします。海に関しても非常に大きな環境の毀損が進んでおります。課題をいくつか挙げますと、まずは乱獲。とにかく獲ってしまう。手法は底引き網。多くの海洋生物を捕獲するだけでなく、海底にあ

る岩や珊瑚といった生物の棲み処を破壊する、非常に環境負荷の高い漁法です。これには商品にならない様々な野生生物が引っ掛かってしまいます。例えば海ガメ、エイなどが混獲されます。獲れてしまうと結局は廃棄されます。なので、皆様のお口に入る以外に多くの野生生物が犠牲になっているということです。

その他最近話題なのが、プラスチックの海への流入です。これによりウミガメや水鳥が影響を受けています。温暖化に関係するところでは、海水温の上昇です。この写真は石垣島の白保というきれいな珊瑚の残っている保全地域ですが、白くなっているところは、白化現象といってこの後すぐに死んでしまいます。

漁業の海洋資源への影響についてです。1974年の海洋資源の40%が2011年では4分の1に減少しています。残りの90%については、これ以上獲ったら危ないレベルです。とくにその30%のマグロやウナギ等についてはこれ以上獲ったら絶滅してしまいます。どうしてそんなに獲らなくてはいけないかということ、一人当たりの消費量が倍増していることに加え、人口が増えているからです。世界全体の魚介類の消費量は、過去50年で5倍になっています。新興国などの経済発展が著しいなかで、魚食が日本以外では非常に増えています。それで沢山獲らなければいけない状況が生まれます。

漁業による野生生物への影響を、イルカや海鳥に見てみます。どのくらい犠牲になっていると思いますか？イルカ30万頭、海ガメが43万頭、海鳥が40万羽です。

よくある質問が「では養殖だったらいいの？」です。養殖にもまた課題があります。今チリでサーモンが養殖されており、問題になっています。そもそも南半球にサケはいません。なので、例えば網が破れて逃げ出してしまいますと、もともとそこに暮らす魚と交配が進んだりとか、生態系が乱れてしまいます。あとは、その他の生物が「害獣」として駆除されてしまいます。また、抗生物質を撒くこと

による水質汚染、フンや過剰な餌の害もあります。さらには、サケ1キロ育てるために、餌はどれだけ必要と思われるのでしょうか？餌自体が魚なのですが、サケ1キロに対して、餌の魚は1.5キロ必要です。非常に効率が悪いです。マグロ1キロには餌15キロ必要となります。これをどこかの海から獲ってこなくてはならない、ということで養殖も影響が大きいことがわかります。養殖は海だけではなく、インドネシアなどのエビの養殖池はマングローブの林を破壊して作られています。ということで、海のみならず森にも影響を及ぼしています。マングローブは非常に優れた生態系を育ててくれます。いろいろな生物の棲み処となるだけでなく、地下に炭素をとどめてくれます。マングローブがなくなるとその炭素が出てきてしまい、更に温暖化に拍車をかけます。

皆様の生活の中にぜひ取り入れて頂きたいものとして、エコラベルがあります。エコラベルの商品を選んで頂きたい。ただ、いろいろなラベルが乱立しておりますので、どのエコラベルかをしっかりと選んでいただきたい。例えば私共が推奨しているのが「海のエコラベル」。これは天然魚に与えられる認証です。養殖版海のエコラベル(ASC)もあります。ただ持続可能なだけでなく、地域社会とか労働、人権というところにも配慮しております。なぜ実効性が高いかという、サプライチェーン全体を通してしっかりと管理されているからです。先ほど申したような課題があるところで、漁業や養殖を行っていないか、その先にある加工工場や小売店で別の魚と混ざらないか、というところまで審査します。認証が下りた後でも、抜き打ち検査などでしっかりと履行されているかとチェックされています。具体的には、イオンやイケア、co-opさんなどご支援いただいている先で買うことが出来ます。それから、マクドナルドのフィレオフィッシュについては、近い将来ラベルが付くことになると思います。このほか、認証制度エコラベルの大事な点は、国際認証であること、第三者機関の調査が

入ること、認証後も実行に関する監査があることです。恐らく、この認証もどんどん今後改善していくと思います。ぜひ日常生活の中で注目していただきたいと思います。

今日は海の話を中心に致しましたが、FSCという木材に与えられる認証もあります。紙やパーム油などです。お菓子など、植物油脂と書かれているもののほとんどはパーム油です。食物だけではなく、界面活性剤としてシャンプーなどにも入っています。生産性が高くて素晴らしい材料ではあるのですが、どうしてもその生産のために天然林が切り開かれてしまうということがあります。

ここまでの、私共の取り組んでいる内容の上澄み部分です。では、実際現地では何をやっているのか、という方が話として面白いと思いますが、それは後日また専門家を連れてまいりますので、機会を頂ければと思います。

私共は皆様のご支援で成り立っている団体です。今進行しております「メコンからのSOS」という個人様向けのプロジェクトがございます。メコン地域というのは、まだかろうじて貴重な森林が残されている地域（タイ、カンボジア、ミャンマー、ラオス）です。森林が残っているので、多くの野生生物が残っていて、何とかこのエリアを守りたいと。こちらで採れるコモディティーは天然ゴムです。道路が出来てしまうとどうしても伐採が起こります。森林というのは連続していることに価値があります。2009年の時点でかなり分断が進み、このままいくと2030年にはほぼ森林が失われてしまいます。これを啓発しつつご支援をお願いしております。メコンにはゾウ、カワウソなどさまざまな生き物がいます。法人様向けには、一口年間20万円以上で会員、その他任意のご支援もご検討いただけたらと思います。

以上です。どうもありがとうございました。

⑨ プログラム委員長より

田路会員

プログラム委員長として卓話者リストの更新という作業がございます。ロータリアンが他クラブで卓話することがきっかけで交流・親睦を進めていくというのも、今後のロータリーの方針であります。そのためにもぜひ全員に名乗り出て頂きたいと思っているくらいです。Facebook 上にご回答をお願いします。

◆ 閉会点鐘 尾崎会長

(議事録作成：事務局 桑原)